

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 高周波熱錬株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 141-8639 東京都品川区東五反田2丁目17番1号オーパルコート大崎マークエスト	
本票作成	部署名：岡山工場 保全課				
主たる業種	分類コード	24	業種名：金属製品製造業		
事業の概要	高周波熱処理をしたPC鋼棒等の製造販売、機械部品等高周波焼入れの受託加工・製造販売、各種周波数の電源を使用する誘導加熱装置及び高周波焼入設備の製造販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		岡山県総社市久代1408-22	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 27 年度)	(平成 29 )年度排出量	目標年度(平成 30 年度)
	7,636 t CO <sub>2</sub>	11,334 t CO <sub>2</sub>	7,407 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29 )年度排出量
	①	岡山工場	11,334 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：平成 28 年度 ～ 平成 30 年度 ( 3 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 29 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 5.0 %	3.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 原単位指標 (生産重量)	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 29 )年度	目標年度
		0.295	0.310	0.286
		t CO <sub>2</sub> /( t )	t CO <sub>2</sub> /( t )	t CO <sub>2</sub> /( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

受注量大幅増による生産増のため、CO<sub>2</sub>排出量は昨年度よりも大幅に増えた。原単位当たりの排出量は小ロット多品種化の傾向が進み、3年目標は未達も前年度からは改善した。

**【推進体制】**

月一回、原価委員会の電力区分で各設備毎の電力原単位を確認、フォロー実施。  
また、安全・環境委員会で都度、ISO14001環境マネジメントシステム順守状況の確認、各課環境省エネ活動の進捗確認とフォロー、省エネルギー法に基づくエネルギー使用の合理化に関する管理標準の順守状況を確認、フォロー実施。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	(平成29年度実施分) ・サイクルタイム改善による生産性改善 ・LEDライト導入追加 ・ファン及び熱交換等メンテナンス、更新による改善  (今後実施予定分) ・老朽化コンプレッサの省エネ更新 ・照明の人のセンサー、LED化追加 ・スポットクーラー等の人のセンサー追加工事検討 ・高周波電源装置の省エネタイプに更新（前年度延期分） ・サイクルタイム改善による生産性改善活動継続 ・月1回故障低減活動による生産性改善 ・修理担当者交代勤務導入による故障時間低減 ・設備改造による稼働率増加、全体最適化 ・工場全体配管系統の見直しによるポンプ稼働の最適化（前年度引続） ・制御盤内クーラー更新

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--